

- 日 時 2008年 4月19日～20日 1600～
- 会 場 鳥羽 瀬乃崎
- 参 加 飯田、石原、岩本、大森、鈴木、高宮、中井、中川、林、前田  
間宮、山口 計12名
- テーマ 「リハビリテーション治療の必要性」  
話し手： 鈴木 良 次 (昭和40年 経済卒)

\*\*\* スピーチ&レジメから \*\*\*

○必要性

- ・交通事故による障害者 ←三重県の交通事故多発
- ・高齢化の進展 ←三重県高齢者 65才以上/2007年 40万人
- ・要支援、要介護認定者の増加
- ・地域リハビリテーションの取り組み
- ・医師数不足 全国=6.8人、三重県=5.7人、東紀州=1.4人  
←地域社会彼の理学療法士の付属

○理学療法士の仕事

- ・病気やケガによって体や心に障害の残った人に「立つ・歩く・座る」といった基本動作が再び出来るように治療したり、痛みがある人の治療をする「リハビリテーション医療」のスペシャリストです。
- ・対象は高齢者、後遺症のある人、スポーツでケガした人

○理学療法士になるには

- ・医師と同様の国家資格取得
- ・専門知識、技能、コミュニケーション能力が必要

<懇親会>

1800から初めてアルコールのある交流会? となりました。初参加の方もあるなかでワイワイ、ガヤガヤといつもと違う賑やかなものでした。

\*\*\*\*\*

○次回第14回交流会予定

日程： 2008年 7月27日 (日) 集合 1030

会場： 未定 担当 井上

詳細は6月初旬に校友会HP、メール、FAX、はがきで案内します。

以 上